BUFFALO 35003636 ver.07 7-01 C10-015

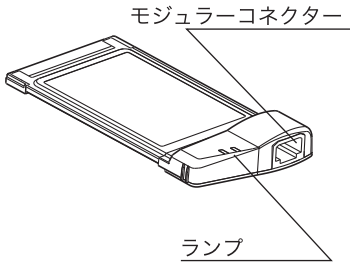
らくらく！セットアップシート
～LPC-CB-CLGT～

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

1　パッケージ内容

パッケージには次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、弊社までご連絡ください。

□ LANカード(本体) ……1枚
□ LANボードNavigator II CD ……1枚
□ らくらく！セットアップシート(本紙) ……1枚
□ 安全にお使いいただくために必ずお守りください(保証書付き) ……1枚
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

2　各部の名称とはたらき

※各コネクターには触れないでください。
故障の原因となります。

ランプ	はたらき
LINK/ACTランプ	点灯(緑)：リンク確立時。 点滅(緑)：データ送受信時。
10/100/1000ランプ	点灯(橙)：通信速度が1000Mbps時。(1000BASE-T) 点灯(緑)：通信速度が100Mbps時。(100BASE-TX) 消灯　：通信速度が10Mbps時。(10BASE-T)

3　インストール

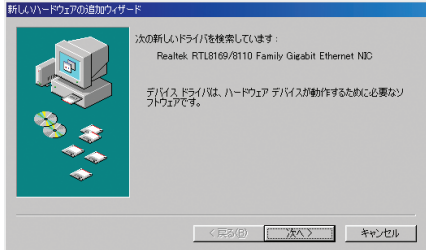
⚠注意 PCカードスロットが1つしかないパソコンで、PCカード接続のCD･DVDドライブを使用している場合は、CD･DVDドライブと本製品を同時に使用できません。このようなときは、付属CDのデータを次の手順でハードディスクにコピーし、コピーしたファイルの中からLAUNCHER.exeを実行してください。

＜付属CDのコピー手順＞

1 パソコンに付属CDをセットします。
メイン画面が表示されたときは、[終了]をクリックして閉じてください。
2 [スタート]－[ファイル名を指定して実行]をクリックします。(Windows Vistaでは[スタート]をクリックします)
3 [名前]または「検索の開始」と表示されているところに「XCOPY D: C:¥LANNAVI /E /H /I」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押してください。
下線部は付属CDをセットしたCD･DVDドライブのドライブ名を入力します。
上記はCD･DVDドライブがDドライブだった場合の例です。

以上で付属CDのコピーは完了です。Cドライブの[LANNAVI]フォルダにコピーされています。

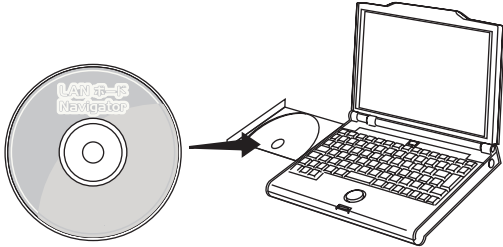
メモ ･Windows 7/Vista/XP/2000で使用する場合は、コンピューターの管理者権限があるユーザー(Administrator等)でログオンしてください。Windows 7/Vista/XP/2000で登録したユーザーは、制限つきアカウントに設定しない限り、コンピューターの管理者権限を持っています。Windows 7/Vista/XPで、ユーザーアカウントの権限を確認するには、[スタート]－[コントロールパネル]－[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]または[ユーザーアカウント]で確認できます。

･本製品はまだ取り付けないでください。セットアップの途中で指示が出たら、取り付けます。誤ってセットアップ実行前に本製品を取り付けると、右のような画面が表示されることがあります。このようなときは必ずキャンセルして画面を閉じ、本製品を取り外してください。(右の画面は、Windows98のものです)

Windows 7(32bit/64bit)/Vista(64bit)の場合

Windows起動後に本製品を取り付けると、画面の右下に「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」というメッセージが表示されます。しばらくして、「デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されたら、ドライバーのインストールは完了です。

メモ 本製品の取り付け方法や接続に関する注意は、右上の手順4の図を参照してください。

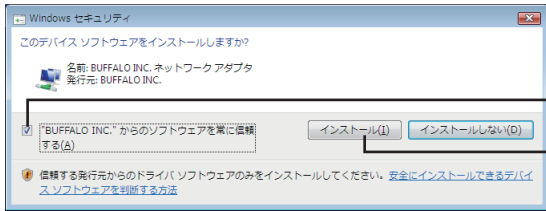
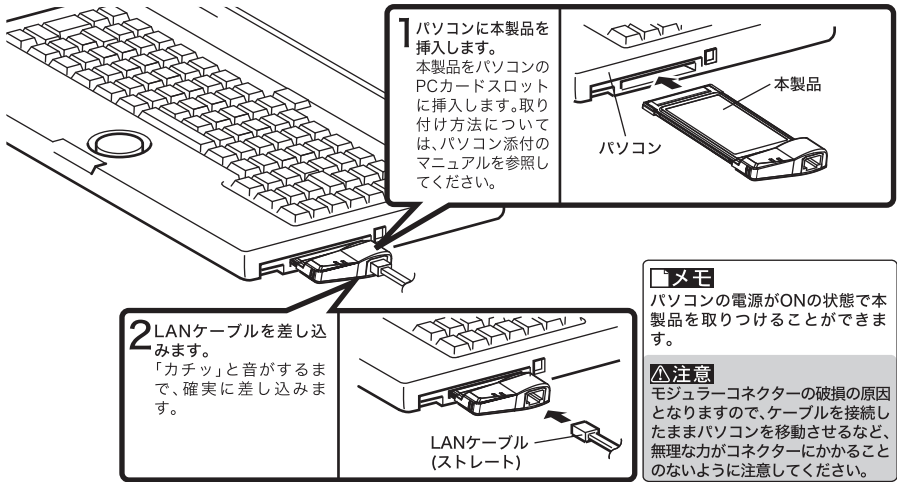
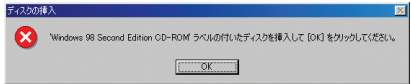
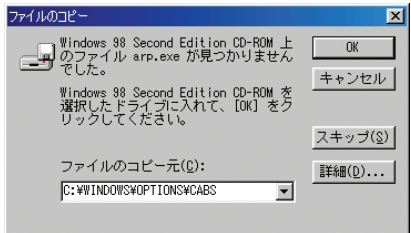
Windows Vista(32bit)/XP/2000/Me/98SE/Server2003の場合

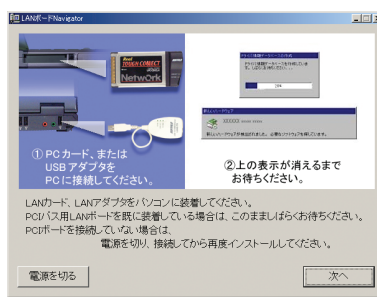
1 付属CDをパソコンにセットします。
セットすると、メイン画面が表示されます。
メモ メイン画面が表示されないときは、付属CDに収録されているLAUNCHER.exeファイルをダブルクリックしてください。

CDをセットすると、メイン画面が起動!!

⚠注意 Windows Vista(32bit)をお使いの場合、自動再生画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックしてください。

2

⚠注意 Windows Vista(32bit)/XP/2000をお使いの場合、「ネットワークアダプタのドライバをインストールします」と表示されたら、[次へ]をクリックしてください。

3 「ソフトウェア使用許諾契約と安全のために」の画面が表示されたら、内容を確認して[同意する]を選択し、[次へ]をクリックします。(Windows Me/98の場合は、[同意する]をクリックします。)
⚠注意 以下の画面が表示されたら？(Windows Vista(32bit)の場合のみ)

4 「ネットワークアダプタを取り付けてください」(Windows Vista(32bit)/XP/2000の場合)または「LANカード、LANアダプタをパソコンに装着してください」という画面が表示されたら、本製品をパソコンに取り付けます。(取り付けると、「新しいハードウェア」画面が表示されることがあります。)

メモ ･1000BASE-T/100BASE-TXのネットワークで使用するときは、それぞれエンハンストカテゴリー5以上/カテゴリー5以上のLANケーブルを使用してください。その他のケーブルを使用すると、正常に通信できません。
･本製品は、AUTO-MDIX機能に対応していますので、ストレート/クロスケーブルを自動的に判別して接続します。
･LANケーブルの長さは100m以下で使用してください。
･LANケーブルを接続しなくても本製品のドライバをインストールできます。
･Windows98の場合、[ファイルのバージョン競合]画面が表示されることがあります。その場合は、[はい]をクリックしてください。
･Windows98の場合、本製品取り付け後に以下のような画面が表示されることがあります。その場合は、次の手順に従ってください。

Windows98のCD-ROMをセットして[OK]をクリックします。パソコンにWindowsのCD-ROMが添付されていない場合は、そのまま[OK]をクリックしてください。

「ファイルのコピー元」に以下の文字列を入力し[OK]をクリックします(WindowsがインストールされているドライブがCドライブ、CD-ROMドライブがDドライブの場合)。
Windows98のCD-ROMをセットした場合:
D:¥WIN98
CD-ROMをセットしなかった場合:
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

5

･Windows Meをお使いの場合は「新しいハードウェア」画面が消えたら、[次へ]をクリックします。
･Windows98をお使いの場合は「新しいハードウェア」画面が消えたら、付属CDがパソコンにセットされていることを確認して[次へ]をクリックします。

⚠注意 「新しいハードウェア」画面が完全に消えるまで、キーボードを操作したり、マウスをクリックしないでください。ドライバのインストールに失敗することがあります。

6 「正常にインストールされました」や「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK]または[完了]をクリックします。

メモ
･「再起動してください」と表示されたときは、[再起動]をクリックしてください。
･「インストールに失敗しました」と表示されたときは、手順2以降を参照して再度ドライバーをインストールしてください。それでもドライバーが正常にインストールできないときは、付属CDのメニュー画面から[困ったときは]を参照してください。
･本製品のドライバーのインストール後、パソコン起動時に「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたときは、[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]をクリックしてください。

以上でドライバーのインストールは完了です。

次へ《ADSL/CATVでインターネットをする場合》
設定方法は、各プロバイダーにお問い合わせください。

《パソコン同士で通信する場合》
設定方法は、Windowsに添付のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

【裏面へつづく】

Jumbo Frameの設定を変更する

本製品のJumbo Frameの設定を変更する必要がある場合は、次の手順で変更します。

メモ
・Jumbo Frameとは、イーサーネットフレームサイズ(送信単位)を大きくして、ネットワーク上の転送効率を向上させる機能です。本製品のJumbo Frame機能を有効にすることで、イーサーネットフレームサイズが7KByteまで増大します。
・Jumbo Frameを使用するには、通信を行うパソコン(LANアダプター)とそのネットワーク内のすべてのスイッチングハブがJumbo Frameに対応している必要があります。Jumbo Frameに対応していないスイッチングハブが1台でもある場合は、通信できません。
・Jumbo Frameで通信する場合、通信プロトコルはTCP/IPを選択してください。TCP/IP以外のプロトコルを選択すると通信できません。

《Windows 7/Vista/XP/2000/Server2003の場合》

1. [スタート]メニュー内の[コンピューター](Windows 7/Vistaの場合)または[マイコンピュータ](WindowsXP/Server2003の場合)、または、デスクトップの[マイコンピュータ](Windows2000の場合)を右クリックし、[管理]をクリックします。
   メモ Windows 7/Vistaをお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
2. [デバイスマネージャ]をクリックし、[ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリックして、「Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC」をダブルクリックします。
3. [詳細設定]をクリックします。
4. [Jumbo Frame]を選択し、[値]を変更します。設定値は下表のとおりです。設定を終えたら[OK]をクリックします。
   注意 「Jumbo Frame」以外の項目は、変更しないでください。
5. パソコンを再起動します。

《WindowsMe/98の場合》

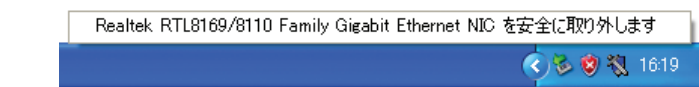
1. デスクトップの[マイ ネットワーク](WindowsMeの場合)または[ネットワーク コンピュータ](Windows98の場合)を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
2. 「Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC」を選択し、[プロパティ]をクリックします。プロパティ画面が表示されたら、[詳細設定]をクリックします。
3. [Jumbo Frame]を選択し、[値]を変更します。設定値は下表のとおりです。設定を終えたら[OK]をクリックします。
   注意 「Jumbo Frame」以外の項目は、変更しないでください。
4. 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

Jumbo Frame　設定値

設定値	フレームサイズ(ヘッダー14Bytes + FCS 4Bytes含む)
Disable	Jumbo Frame OFF(出荷時設定)
2KB MTU	2052Bytes
3KB MTU	3076Bytes
4KB MTU	4100Bytes
5KB MTU	5124Bytes
6KB MTU	6148Bytes
7KB MTU	7172Bytes

本製品の取り外し

Windowsの動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順にしたがってください。Windowsのバージョンによって取り外しのアイコンや表示されるメッセージが異なる場合があります。その場合も以下と同様の手順で取り外してください。

1. タスクトレイに表示されている取り外しアイコン(例: や)をクリックし、[Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NICを安全に取り外します]を選択します。
   アイコンが表示されないときは、Windowsのヘルプを参照してください。
   Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC を安全に取り外します
   16:19
2. 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックして本製品を取り外します。
   WindowsXPの場合、メッセージ画面に[OK]はありません。そのまま本製品を取り外してください。

ドライバーの削除

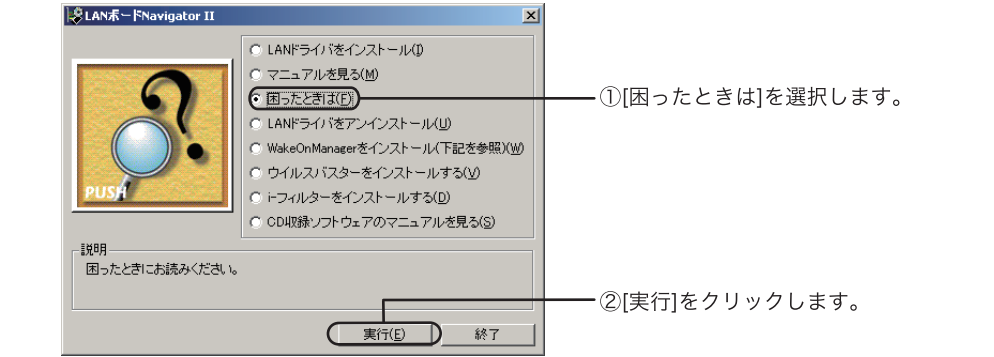
ドライバーを削除するときは、次の手順で削除してください。

※本製品をWindows 7(32bit/64bit)/Windows Vista(64bit)環境にてお使いの場合、Windows標準のドライバーを使用しますので、以下の手順は不要です。

1. 付属CDをパソコンにセットします。
   メモ Windows Vista(32bit)をお使いの場合、自動再生画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックしてください。
2. メイン画面が起動したら、「LANドライバをアンインストール」を選択して、[実行]をクリックします。
3. 「ドライバの削除を実行します」と表示されたら、[はい]をクリックします。
4. 「ドライバのアンインストールは正常に終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上でドライバーの削除は完了です。

困ったときは

「本製品が正しく認識されない」、「通信ができない」など、何か困ったことがある場合は、付属CD内の「困ったときは」を参照してください。

仕様

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

LANインターフェース	規格	IEEE802.3ab(1000BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3(10BASE-T)
	伝送速度	1000/100/10Mbps
	伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5(1000BASE-T)、4B5B/MLT-3(100BASE-TX)、マンチェスターコーディング(10BASE-T)
	アクセス方式	CSMA/CD
	Jumbo Frame(*1)	最大7172Bytes(ヘッダー14Bytes + FCS 4Bytes含む)
ホストインターフェース	対応バス	CardBus
	転送方式	バスマスター転送
	電圧	3.3V
対応機種(*2)		CardBus対応PCカードスロットを装備したノートパソコン
対応OS		Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP/2000 Windows Me/98/Server2003
最大消費電力		2080mW
最大消費電流		630mA
動作環境		温度:0～55℃　湿度:10～90%(結露なきこと)
外形寸法		54(W)×5(H)×113(D)mm(突起部の高さ14.5mmを除く)
取得規格		VCCI Class B

*1 Jumbo Frameは出荷時状態で無効になっています。有効にするには、「Jumbo Frameの設定を変更する」の手順で設定を行ってください。

*2 Texas Instruments製CardBusコントローラー搭載のパソコンをお使いの場合、Jumbo Frameの設定値を4KB MTU以上に設定すると、正常に通信できないことがあります。

メモ
・本製品のドライバーが正常にインストールされると、[デバイスマネージャ]の[ネットワークアダプタ]に「Realtek RTL8169/8110 Family Gigabit Ethernet NIC」が追加されます。
・デバイスマネージャは、次の方法で表示できます。

Windows 7/Vista	:[スタート]メニュー内の[コンピューター]を右クリック → [管理]をクリック → 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら[はい]または[続行]をクリック → [デバイスマネージャー]をクリック
Windows XP/Server2003	:[スタート]メニュー内の[マイコンピュータ]を右クリック → [管理]をクリック → [デバイスマネージャ]をクリック
Windows 2000	:デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリック → [管理]をクリック → [デバイスマネージャ]をクリック
Windows Me/98	:デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリック → [プロパティ]をクリック → [デバイスマネージャ]をクリック

・最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、本製品をいったん取り外してください。本製品を取り外すことにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・パソコンと、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・パソコンと、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・パソコンと、ラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

らくらく!セットアップシート　LPC-CB-CLGT
2009年 12月 8日　第7版発行
発行　株式会社バッファロー